

## 令和3年第2回名張市快適環境審議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和3年10月26日（火） 午後2時から4時まで
2. 開催場所 名張市役所2階 庁議室
3. 出席者
  - 会長 朴 恵淑 以下：会長
  - 副会長 田畑 博 以下：副会長
  - 委員 大西 民男 以下：委員
  - 宮崎 慎司 以下：委員
  - 大西 和美 以下：委員
  - 福廣 勝介 以下：委員
  - 永楽 通宝 以下：委員
  - 事務局 地域環境部長 宮崎 正秀 以下：事務局
  - 環境対策室長 海野 隆広 以下：事務局
  - 環境対策室 久保 厚史、森永 陸斗、城戸 悠馬 以下：事務局
4. 欠席者
  - 委員 近藤 恵美
5. 内容
  - 1 会長あいさつ
  - 2 なばり快適環境プランの中間見直しについて
    - (1) 修正案の説明
    - (2) 各委員からの素案についての意見
  - 3 その他
    - 次回審議会の開催について

### ・開会

### ○事務局

本日は公私ともどもお忙しい中、快適環境審議会にお集まりいただきましてありがとうございます。本日の議題といたしまして、前回に引き続きまして、名張市快適環境プランの中間見直しについて、修正案の説明をさせていただくとともに、委員の皆様からのご意見を伺うなどの予定をしております。議事進行につきましては会長にお願いさせていただきます。

ここで少し、新聞報道等でご存じの方もおられるかもしれませんが、この度朴会長がWHOのアジア太平洋環境保健センターの初代所長に就任されたことをお聞き致しましたので、お知らせさせていただきます。WHOの西太平洋地域事務局は、2019年12月に名張市を訪問し、本市の地域力を活かしたまちの保健室の整備や健康づくり、介護予防の取組などを視察されております。

朴会長が所長に就任されましたことで、ますます三重県、そして名張市と連携が深まることをご期待

申し上げたいと思います。それでは会長、議事進行の方をお願い致します。

## 1 会長挨拶

### ○会長

多分な紹介をいただきましてありがとうございます。

WHOの本部はご存じのようにスイスのジュネーブにあります。この度、日中韓を含め37の国・地域などを含めた、アジアのアジア太平洋環境保健センターを韓国ソウルに設置することとなりました。

2019年10月正式に設置され、わたしに所長をお願いしたいとの話がありました。主な仕事は、大気汚染とエネルギー政策、そして気候変動と健康、もう1つが水質の改善と衛生であります。とりあえず1年間となりますが、所長を任命されてる間に、お世話になった三重県、そして名張市を含めて少しでも感謝を表せる方法がないか探っていこうと思っています。

明日からソウルに行って、さらに1週間後にはイギリスグラスゴーに向かい「COP26」に参加をして、11月16日に戻ってまいります。そこで得た経験が、三重県そして名張市に少しでも役立てばと思っています。

名張市の快適環境プランは、2026年を最終的なゴールとし、新たなステージに進みますが、2017年に作成してから4年ちょうど経った今、中間見直しをしていきます。

事務局の方から重点項目に関して説明をいただいて、各委員の皆様から頂いた意見がどう反映されているのかということの説明をいただいて、後に各委員の皆様からの意見をいただく、という形で進めていきたいと思っています。よろしく申し上げます。

### ○事務局

それでは事務局の方から修正案の方の説明をさせていただきたいと思います。

まず、4ページの計画の考え方について、小学生でも中学生でもなるほどと思ってもらえるような肉付けが必要だ。というご意見を頂戴しました。それにつきまして、今まで「中間見直しの趣旨」と「計画策定の背景と趣旨」ということで分かれておりましたが、これらを1つにまとめて、4ページに「計画策定及び中間見直しの背景と趣旨」という形でまとめまして、極力詳しく、記載しました。

内容につきましては、赤文字のところをご覧いただければと思います。

続いて、市章が無かったもので、どこかに配置して方が良いというご意見をいただきましたので、表紙のSDGsのマークの横に、市章を配置させていただきました。

続いて、ごみの1人あたりの排出量について、名張市では素晴らしい結果が出ているので、それらを紹介すべきだというご意見をいただきましたので、コラムといった形で、プランの中に落とし込みました。他にも平成の名水百選に選ばれた赤目四十八滝、三重県の中でも一番参加者が多い清掃活動である名張クリーン大作戦の内容であったり、オオサンショウオであったりといったものを記載しております。また、ご意見いただきましたように名張市は、家庭系のごみ排出量が全国792市の中で21番目に少ないということで、非常にごみ分別意識が高い市でありますので、このような内容を誇るべき内容として、載せさせていただいております。

使用されている写真についても、極力新しいものに変えるべきとの意見もいただきましたので、トップ

ページから変えられるところはすべて新しい写真に差し替えさせていただきました。

続きまして、次の改訂では、「子供から大人まで絵や写真を募集してもいいのではないか」という意見も頂戴しました。現在も、環境学習という形で、市内の小学4年生を中心に各学校で話をさせていただいている中で、生徒から絵や感想などをいただいておりますので、許可を得たものについて、掲載をさせていただいています。

続いて、計画目標の数値は実現可能な数値にすべきとのご意見いただきましたので、担当室と再度協議しながら、目標値の設定を行いました。

具体的には、前回名張川のBODの数値でもご意見いただきましたが、BOD1.0以下を既に実現していますので、これ以上を目指すのか、それともこれで十分なのか。等の意見もいただきましたので、1.0でも基準値は十分満たしているということはこの表の中に記載していきたいと考えています。

鉛の含有物等も同じような考え方で記載していきたいと考えております。また、環境マネジメントシステム導入事業所については、永楽委員よりご意見をいただいたのですが、今までの伸び率などを見ながら、目標数値を上乗せしていきたいと考えております。最後に、今回はお配りしていませんが快適環境プランの達成状況の評価。ABC評価の部分について以前皆様より意見を頂戴しましたが、ABC評価がわかりづらいというお声もありましたので、外部への公表を範囲として見直し、工夫をしようと考えております。

以上がおおまかには、前回委員の皆様よりいただいた意見を基に変更を加えさせていただいた箇所でございます。また、永楽委員より別途、低炭素社会の記述部について、ご意見を頂戴しました。市民がこの計画をより理解できるように、3段落目「また」以降カーボンニュートラルの記述は、「このため2050年までに、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡化させるカーボンニュートラルを国は目指しているので～」と少し詳しく書いてみてはどうかというご意見を頂戴しました。そうすることで、排出量の削減と同様に吸収量保全の重要性を分かってもらえるのではないかといったご意見をいただいております。

これを受け、施策の基本的方針2 低炭素社会 環境目標4の部分別途お配りしたペーパーのような形で変えていきたいと思っておりますので、この件に関してもご意見をいただければと思います。

## ○会長

ありがとうございました。修正点についての説明がありました。すでに、皆様から出た意見を反映しているものでありますが、いろいろ意見もあるでしょうし、本日新たに提案をすることも可能です。どなたからでも結構です。皆さんどうでしょうか。

## ○委員

まず直してもらったところについての感想を。

## ○会長

はい。どうぞ。

## ○委員

表紙ですね。写真に子供が出てきたことはとってもいいなと思います。

それから2ページ。この手の文書は通常は他自治体も市長の顔写真はでるものなんですか？

## ○会長

です。

## ○委員

ちょっと僕は違和感があります。

## ○会長

様々な形がありますが、行政の計画については、ほとんどトップのコメントが出ている。お名前だけの場合もあれば、お写真入りのものもある。

そこで1番大事なことが何かというと、環境基本計画は、あらゆる環境の憲法みたいなものですから、写真が入っているかどうかは別として、最終的には、我々委員の責任もありますが、トップが責任を持って取り組むといった意思表示として、写真付きにしているパターンが非常に多いと思います。

三重県の鈴木英敬知事の時に作成した計画は、全部写真付きでした。

## ○委員

普通のルールでそれなら良いが、パッと開けたら市長の顔写真があることについて、ちょっと違和感を受けました。

4ページの編集を変えていただいたのですが、まとめたことによって文章が長くなってしまうと、息が切れて読めないと感じました。

続いて、この前も意見しましたが、表記を「市民」ではなく「住民」にすべきでないかと。何となく、住民といったほうが、パートナーシップとかの話になってきたときに…まあ日本語の話になってくるんですけども、いいのではないかと思います。

環境問題は基本的に1人の指示だけでは絶対成り立たないということです。先ほどの写真の話と同じで、「皆で取り組む」というのを強調したい思いからの意見です。今回の改訂に関しての意見は以上です。

## ○会長

また続けているいろいろな意見が出てくるかと思いますが、まず1番大事なトップに関わる部分、第2章までのところで考えましょう。貴重なご意見ありがとうございます。

## ○委員

私は反対に顔写真があったほうが良いと思います。写真のレイアウトなどは、さらに事務局で検討していただけたらと思うが顔写真があることで、「皆で取り組む」というのが強調されると思います。

## ○委員

それであれば、亀井市長は名張クリーン大作戦にも参加しているので、そこで作業をしている写真とかなんて良いのではないかと思います。なんで顔写真なのか、疑問です。

## ○委員

なるほど。同じ目線でという意味ですね。

## ○会長

なるほど。ありがとうございます。ちょっと私の方からになりますが、出だしの部分は非常に大事です。子供向けやダイジェスト版などの作成も考えてくれているだろうとは思いますが、やはり 1 番最初のなんでこんなことをやるの？というのが一番勝負どころです。計画の考え方、そこをどのようにして、分かりやすく、コンパクトにかっこよくまとめられるかというのが大事です。大変だとは思いますが、これこそ行政の皆さんの知恵を絞って、みなさんになるほどと思ってもらえるようなものを作っていくことが必要だと思います。

実際に読んでみるととても詳細で、どういう歴史の流れの中で関わって来たのかはとても分かりやすく書かれていると思います。もしコンパクトにまとめる必要があるのならばもう少しコンパクトにまとめる作業を考えていただきたい。

1992 年、世の中が地球サミットで盛り上がっていた時、その時名張市に条例ができて、ずっと今まで来ているということが分かりやすく書かれているなどと思います。

SDGs については、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて、最初の目標地点である 2030 年まで 9 年しか残っていない。SDGs はいい意味でも悪い意味でもなんだかんだ言って使いこなさないといけない。私から 1 つ提案させていただいて作成してもらったのですが、本プランの目標や取組が SDGs のどの目標を達成するものなのかを表してもらいました。

また、11 ページについても、事業者や行政があり、それぞれ平等の関係なのですが、一番大事なのは我々だということで、市民を三角形の中でトップに入れてもらいました。

さらに、このページにも SDGs のロゴ、ホイールマークなども入れていただきたいと思っています。そうなってくると、すべての取組に対して SDGs が関わっているということがしっかり示されます。

そして、先ほどの議論に繋がる「市民」とするか「住民」とするかについてですが、私は両方正解だと思っています。しかし、名張市は名張市なんです。〇〇町、〇〇村、名張市に住んでいる皆さまという意味で、市民が良いのではないかとと思っています。

もし、地域住民だったらレジデンシャルという意味になります。そこに住んでいる人という意味になる。私みたいなよその人をもっと入れていただきたい意味では市民。枠を広げるためにはそちらのほうが無難になるのではないのでしょうか。

住民のほうが良いなら住民でも大丈夫ですが、「名張市は、外の人たちも取り込むよ」という意思で、オープンマインズで表すことも考えていくと無難になるのは市民ではないかと思っています。

さらに、第二章のところから目標に対して取り組むことが、SDGs のどのゴールにつながるのかを、すべて書いてほしいと思います。

## ○事務局

先ほど朴会長がおっしゃられた部分、アイコンの話ですね。これは事務局においても必要性を認識していたため、作成していく予定としています。

## ○会長

ありがとうございます。

プランにおけるそれぞれの取組が SDGs のどのターゲットにあたるのか判断が難しいとは思いますが、その作業をお願いしたいと思います。

## ○事務局

現在の素案についても目次には、どの取組が SDGs のどのターゲットにつながるのかを整理していますが、該当するページにもないと直感的にどれに関わるのかわからないので、朴会長がおっしゃられたように、変更を加え差し替えていきます。

## ○会長

私は、名張市に SDGs 未来都市に選定されてほしいと思っています。そこで大事なのが、「環境」だけでは、駄目ということです。企画、総務などが束ねる必要があります。何回もチャレンジして内閣府に認めてもらうようにしてほしいと思います。未来都市に選定されているのは、三重県内で志摩市といなべ市だけです。志摩市やいなべ市など、様々な特徴があるのでしょうかけれども、名張市は名張市で昔からやってきていることがあるはずですよ。

平成 5 年に快適環境都市宣言をして、環境基本計画も策定した。そんな昔から環境施策に熱心に取り組んできたことをアピールし、ぜひとも SDGs 未来都市に選定されてほしいと思います。今回見直しもされているので、チャンスだと思います。

## ○事務局

SDGs のどの種類に当てはまるのか、環境や人権ではすべての項目にあてはまることだと思いますので、見直しの際はその視点を持ってしていきたいと思います。ありがとうございます。

市民の役割、事業者の役割、行政の役割のところ、円になっているのですべて平等ではありますが、市民が一番上にきたほうがいい。ということで、福廣委員がおっしゃられた住民というのも正しいかとは思いますが、快適環境基本条例では、行政の市の責務、市民の責務、事業者の責務、三つがトライアングルでやっていくという書きぶりもしておりますので、市民か住民かと問われると、どちらも正しいとは思いますが、計画については基本条例に基づいて作成するものでもありますので、市民という表記でさせていただく方が良いかと思えます。また、体裁であったり、SDGs の輪っかなどを最後のページに載せて周知していくというのは、今回は省略させていただいておりますが、すべて出来上がったら委員の皆様に見ていただければと思います。

## ○会長

この際、SDGs の内容をしっかり盛り込んで、未来都市に選定されてほしいと思います。それにより、いろんなところで SDGs の話題が上がるようになり、SDGs 未来都市選定地域は内閣総理大臣が国連に公開

する権利を有しているのです、選定されたら地域名が大々的に載ります。毎年 1700 を超える自治体の中で、30 ほどの地域が選定されている。これは 2018 年からのもので、掲載されだしてからまだ 3, 4 年しかたっていない。ですので、早めに選定されると地域名は大々的に掲載されます。国連の公式文書の中に「名張市」という地域名が上がるのは、「グローバルからローカル」、「ローカルからグローバル」に。次の世代の子供たちに、地域で繋がれば、国際的につながるのはそんなに難しいことではないんだ。ということも分かってもらえると思うし、そうさせるのは我々の仕事ではないのかと思う。

名張市の統括する部署へ働きかけを行っていただきたいと思います。

## ○事務局

ありがとうございます。企画の部署がごさいます。

## ○委員

少し話を戻しまして。「住民」、「市民」の事ですが。私は特に強いこだわりはないのですが…。

## ○会長

住民活動でおこなう行事などはたくさんありますが、皆さんをセットとしてあらわすためには「市民」の方が無難です。地域住民と表してしまうと、そこに住んでいる人という意味合いが強くなると思うので、少し大人的な表現といえますか。

## ○委員

我々は市民活動というより住民活動のほうが聞きなれておりますので、意見を言いました。強いこだわりはないです。

## ○会長

ありがとうございます。

第 2 章のところの部分について、12 ページのところですね。人に気く「ばり」・地域に目く「ばり」・地球に心く「ばり」・里まち「なばり」というこの語呂合わせ、非常に素晴らしいと思います。家族の絵もあり、地球を大事にする意味を込めた絵があるのもよいと思います。

そこに、SDGs のマークとそれに関わるものを入れていいのではないかと思います。子どもたちが「なんだろう。これ。」と興味を持つと思います。なので、11 ページと 12 ページで「繋がる」という意味が伝わればよいと思います。

それから、ページが少し飛んで 18 ページになるのですが、環境マネジメントシステムのところですね。中間値が 25 で、目標値が 23 ということで、これはどうなんだろうかと、思います。減るのか。と勝手に思います。水質がよくなった、大気汚染などが減ったなら率直に喜ぶべきですが、これについては、なにかお考えがあるのでしょうか？

## ○事務局

これにつきましては、当初の目標値を幸いクリアしたので、今後減ることは考えておりません。

なので、見直しをして30あたりに変更した。ただ今伸び率などを研究しながら、環境部門での数値でするので、数値は変更していきたいと思います。

## ○会長

今では環境マネジメントシステムも当たり前というのわかりますが、数値が減るのはどうかと思いますので、上手に調整していただければと思います。

## ○事務局

今、公害防止協定を環境保全協定へ結び変えをしております。八幡工業団地の企業とはすべて結び変えをしました。大きな企業は勿論すでに取り組んでいただけてますが、環境保全協定への結び替え時を契機に環境マネジメントシステムの認証取得に対しても促して行きたいと思いますので、目標値もそれに合わせて変更していきたいと思います。

## ○会長

今、県から連絡が来ていると思いますが、10月27日に「三重版SDGs推進登録制度」というものを作りました。

これは、様々な中小企業などに向けた認証制度で、この1回目の宣言で160社ほどの認証を目標としています。これらも目標に加えるのもいいのではないのでしょうか。

続いて19ページの小中学校で環境学習を実施する目標値が100%になっていることは、すごくいいことだと思います。これは大いにアピールしていただきたい。これ、高校も行けませんか？

## ○事務局

あまり、高校とは連携がありません。

小中学校は校長会等での繋がりがありますので、お願いに行かしていただいたりするのですが。

環境に関しては、県でそのような学習プログラムが組まれているかも分からないですが、資料提供などはさせていただけるとしますので、また研究します。

## ○会長

これは名張の強みであり、もう未来を担う子どもたちが環境の取組をしてくれているという意味でもいいと思います。

## ○事務局

今年は7校の環境学習会に行かせていただいたのですが、その度に感想などを書いてもらっています。非常にいい意見を書いてくれました。

子どもから保護者へ話をすることで、保護者も学習できる。とてもいい取り組みだと思います。

コロナで行けなくなった時の為に担当の方でビデオを作りました。今年は使わなかったのですが、準備



しています。

## ○会長

どうでしょう。宮崎慎司委員。

## ○委員

19 ページ上部の【具体的な施策項目】のところに、「地域と連携したふるさと学習の推進」があると思うのですが、「なばり学」のテキストが上下とも完成しました。昨年度から中学生も本格的に学習をしようという流れになってきています。

ただ、小学校は1人の担任がいろんな教科を勉強しながらの「なばり学」も、社会も、地域の勉強も、繋げながら勉強をできます。

しかし、中学校は教科ごとに先生が変わります。社会、理科などに関わる教科の先生が部分的に授業をしますので、今、数値が73.6%となっていますが、これから100%に近づいていくと良いなと思います。また、今年もすずらん台小学校はチャーター車に来ていただいて、事務局の方にも1時間学習させていただきましたので、そのようなことがこれからの子どもたちの学習に繋がっていけばいいと思います。

浄水場の方も、行けなかったんですけども、映像で見させていただいて、こちらが送った質問にも答えていただきました。このようなご時世でも方法はいろいろ考えられますね。

## ○委員

その一連で話をしますと、コミュニティスクールで名張小学校の2年生が、川のことで喋ってほしいということで2日間に分けて35人ずつ話をしました。こちらから話をしに行くのではなく、聞きに来てくれる。まさしくこれの効果ではないでしょうか。

しかし、それをだれがどう評価するのが、難しいですね。

## ○会長

まず、「実施した。」ということで100%。これは、結果的に99.9%だったとしても絶対100%ですね。そんなところまで行けたらいいですね。

## ○委員

実施した。というのを、学校の先生たちから市役所へヒアリングしてもらうのかどうするのかですよ。どちらからももれてしまうと載りませんよね。

## ○会長

なるほど。実施したって報告をなんらかの形でいただかないといけませんね。

このような取りまとめは教育委員会がしているのですか？

## ○委員

そうですね。ですが、小学校はほぼすべてで環境学習をやることになるはず。中学校はよくわからないのですが。

## ○委員

宮崎委員ご存じかは分かりませんが、名張中学校は今度 11 月 20 日に開催される防災訓練で、各地域に見学に行きます。現場に出るということですね。これはプランにはありませんが実施したということで絶対にここに入ると思います。

## ○会長

なるほど。それならば、8 件でなくてもっと数字が増えるかもしれないですね。顔同士合わせてやることだけが全てではないので、先ほど話のあった映像の事などでも十分協力していることにはなりますので、出前トークは必ず行ってする必要もないので、オンライン講座などの数も入れるともっと数は増えるかもしれないですね。

## ○事務局

今年は 7 校でした。そうするともう少し学校数を上げてもいいかもしれないですね。

## ○事務局

カウントの取り方をもっと幅広くしていいのかな。と今の話を聞いていて思いました。

## ○会長

やり方は様々ですので、それもカウントしていくともものすごくいい結果が出ると思います。

## ○委員

小学校だけでも 14 校ありますものね。

## ○事務局

資料をお渡ししたりするだけの所とともありますのでね。

これも環境対策室の数字になりますので、少し学校の実績ととも見ながら、修正できそうならします。

## ○会長

広報を頼りにしているご年配の方がたくさんいます。このような紙媒体に、少しでも子どもの生の声などを載せられるページなどをとれないのか。

## ○事務局

今広報にごみの分別とかをよく掲載しておりまして、分別の件や火災につながるごみの捨て方など、ほぼ毎月掲載していただいています。朴会長からご意見いただいたように、子どもさんが学んだ思いなどを掲載できるよう検討します。

## ○会長

親から見るととてもうれしいことじゃないですか。うちの子が書いたものが載ったよ。と。

やったことが形となって現れてフィードバック出来るように広報紙を活用していただければいいのではないかなと思います。広報紙は皆さんご覧になりますか。

## ○委員

広報紙は回数が減り、1回のページ数が増えましたね。

## ○事務局

そうです。月に1回に変更になりました。

ほとんどの市町村は月1回なのですが、名張市は2週に1回発行してました。それが月に1回に変更になりました。

## ○委員

1回で、枚数が増えたんですよ。

## ○事務局

確かに、分厚くなりました。

情報は今まで通り発信していけるとと思います。また環境の特集記事とかも出るとと思いますので、そのようなときに朴会長おっしゃられていたことを反映できればと思います。

## ○会長

紙媒体ということもありますので、載せる量にも限界があると思います。

そのようなとき、SNSを使ってみてはどうでしょう。今はネット時代です。

市が1つのコーナーみたいなものを作り、広報紙に載せきれなかった情報などをそこに掲載してみてもどうでしょう。もちろん責任者は必要になります。

なので、そのような所で名張市のホームページを使用して活用してみてもどうでしょう。

ただリンクをたくさん貼るのではなく、「若者の〇〇」のように、すぐに見れるようにしてみるといいかもしれないですね。

## ○事務局

なるほど。先ほど朴会長がおっしゃられた事とは少し違うかもしれませんが、「さんあーる」というごみの分別アプリを導入しています。大体1万1000人くらいの方にダウンロードしていただいております。

そこに、コロナ禍のマスクの捨て方などの環境に関する情報を載せているHPのリンクを貼ってお知らせしたりしています。なので何回もリンクをクリックしていただく必要もなく、直接該当ページに飛べます。そのような工夫をしています。

## ○会長

有能な若い人材が沢山いるのですから、そのような人たちをガンガン使わないといけませんね。

部長が盾になってあげて若い人たちの意見が反映されていくようにしてあげてください。さらにそれ

がエビデンスに残るようにしていきましょう。

**○副会長**

地域まちづくりと合体して、PRすることはできませんか？

**○事務局**

ごみの収集のことですか？

**○副会長**

収集もそうですが、いろいろな環境問題などについてもです。

**○事務局**

地域が頑張ってくださっているのが名張市です。

ごみの分別方法の変更にあたっても、区長や環境委員が頑張ってくださったので、出し間違いなどもあまりありませんでした。

名張市では毎年「クリーン大作戦」を行っています。三重・愛知・岐阜の3県下の団体のなかでも一番多い数の市民の方たちに参加していただいています。まさに地域の皆さんの意識の高さだと思っています。

田畑副会長がおっしゃられたように、本当に地域があつてこそその名張市の環境の取組だと、思わせていただいています。

**○副会長**

いろんな行事についてもまちづくり委員会が市に代わってしてくれていますね。

**○事務局**

地域主体でもらってるので、本当にありがたいと感謝しております。

**○会長**

直轄している部署はどこになるんですか？

**○事務局**

直轄しているところは私の担当の部に地域経営室がありますので、そこで直轄しています。

花いかだの取り組みにしても、ずっと続いているのは意志ある地域の方々のおかげです。

**○会長**

目に見える、見えない縦割りはあるかもしれませんが、この際、やるしかないじゃないですか。

〇〇賞をとった、などの外からの評価で「名張すごいね。」と報われたい。

これだけのことができる名張市だからこそSDGsの名の下でやるべきだと思います。

21, 22 ページについて、子どもの絵をもう少し鮮明にできませんか？

文字などが読みにくいですので、少し大きくしてほしいです。

### ○事務局

スキャンを濃いめにして、もう少し大きく、もう少し散らばせて工夫しようと思います。

### ○会長

例えば上の写真をコンパクトに。他にも工夫を加えていただければと思います。宜しくお願いします。で、27 ページですね。

2015 年で名張川の水質、すべてクリアしているのは素晴らしいと思います。

### ○事務局

2020 年までのものを HP に掲載してあるのでそれを使い最新のグラフを作成し掲載する予定です。

### ○会長

31 ページの光化学オキシダントについて、

①が増えるのはいいんですけど、基準値を超えている時間がなぜこんなに多くなったんでしょうか？ H26 年の現状値が※がついていて、38 だったものが目標値では 407 になっている。

これはありえないのでは。間違いではないでしょうか？

基準値を超える日数がなぜこんなに増えるのか気になります。測定方法が違うのか、これはどういうことでしょうか。

### ○事務局

プランは、平成 26 年のデータが基になっています。平成 26 年の実績値が例年に比べて非常にいい数値だったということです。なのでこれを基準にしてしまうと、目標値を非常に厳しく設定しないといけなくなります。25 年度は②が 504 時間、③が 89 日でしたので、それを基に、目標値を設定しております。

### ○会長

要するに、中間値を今調査中だということですね。

### ○事務局

そうですね。11 月中には出ると思いますので、それが出たら、入力しようと思います。

### ○会長

ただこの表を見ると、「とても悪くなったな」と思われますよね。

窒素の濃度が高くない限りそんなに悪くならないんですけど、なんでこんなになるのか？

名張市で車が沢山通ったり、変なもの出したりして、窒素をたくさん出しているのかとなりますよね。

### ○事務局

平成 26 年の調査データが特異だったためだと思います。

平成 27 年や平成 25 年は近い数値でありました。

この平成 26 年度だけが特出していましたし、本当にそれが正しかったのか今更ながらこの検査はできません。

### ○会長

それであれば、数値を変えるか何かしないと、とても環境が悪くなったなと思われてしまいます。

### ○事務局

現状値を H25 年度の数値に合わせても良いかもしれません。

### ○会長

同じようなことが 32 ページでも起きています。

農薬管理指導士の数が増えることはとてもいいことだと思うんですが、鉛のこととか、どうなんでしょう。この辺はシビアになってきますので、チェックが必要なのではないのでしょうか。

基準年度を変えたりしていただければと思います。

それから、36 ページもそうですが、悪臭について、目標値が減るのかな。思ったらまた増えるじゃないですか。悪臭を伴う家畜や工場が増えたりしたのですか？

### ○事務局

これについてもですが、目標値に関しては H26 年度の数値から考えているものでして、中間地点数値で上がり下がりすることももちろんあります。ですが、最終的に H26 年度から見て、どうしていくかという形で、目標値を設定しております。

先ほど朴会長おっしゃられたように、違和感を受けられる方もいるかと存じます。土壌における鉛含有量も、数値が 52 であれば全然影響のない数字ですが、中間値が 34 であり、それなら令和 8 年度の目標値は 30 だとしてもいいかもしれません。

### ○会長

皆さん考えていただいてよろしいでしょうか。

既にほぼ基準はクリアしているということですね。そして名張は平和でいいところで、平成 5 年には「快適環境」と言っているのに平成 5 年から令和 3 年にかけて、だんだん悪くなっていったんじゃないの？と思われてしまいます。

なので、何か考える術が必要だと思います。

それから、38 ページ。ここの数値はもっと増やしていいんじゃないんでしょうか。今が 10 で目標値が 12 ではなく、20 とかでいいんじゃないんでしょうか。これはたくさん啓発すればいいので。皆さんの力で

ここは数値が伸びます。

それから 42 ページなんですが、認定農業者数のところ。増えるのはとてもありがたいのですが、10 倍以上増えるの？この数値は大丈夫なのかという確認をしたい。

### ○事務局

これは農林部門の数値と合わせてあり、名張市の目標として掲げてありますので、これで進めていきます。

### ○会長

わかりました。ありがとうございます。

次に 48 ページ。1 人当たりのごみの排出量。これ名張市は凄いですよね。すごく少ない。

今 730 g くらいから目標値が 720 g。10 g しか減らないのですか。卵 1 個分くらい減らしてほしいですが。もう少し絞れませんか？

### ○事務局

ここなんですけど、容器包装プラスチックを燃やすごみに変えてしまったものですから。伊賀南部環境衛生組合が名張市などのごみを処理してくれてるのですが、量としては増えてると月報などにも載っています。

そこを踏まえて 720 という数値は、一旦上がったことを考えると頑張った数値だとは思いますが。

### ○会長

他の市町は名張市に追いつけ、追い越せ、という状態です。

それから、51 ページですけども。家電リサイクル法対象の不法投棄物の収集のところですが、目標数値、46 となっていますが、もう少し減らせませんか。

### ○事務局

私ども不法投棄のパトロールや啓発、監視カメラの導入などの対策はしているのですが、なかなか減らない状況です。

### ○事務局

「小型家電」に関しては、分別の日にしっかり出していただけています。

家電リサイクル法対象の家電製品は、環境レンジャーにもパトロールしてもらおうのですが、捨てるのにお金がかかるからか、よく捨てられるんです。

### ○会長

要するに、処理にお金がかかるから不法投棄するということですか。

### ○事務局

そうなのではないかな、と思っています。

### ○委員

運ぶだけでも大変なのよね。

### ○事務局

46 という数字を 40 ぐらいであればもう少し頑張れば行けるのですが、啓発不足もあると思います。

### ○会長

無くならないことではありますからね。

### ○委員

啓発の看板ありますよね。私たちボランティアで片づけたりする立場なんですけど、その立場からいうと、看板があるところほど捨てられるんです。ちょうどカーブの死角になるところなので。

### ○事務局

だからつけているんですけどね。一度捨てられた実績があるところにつけているんですけどね。

### ○委員

今私たちが活動しているところはうっそうとした場所が多いので、捨てやすいのではないかと思います。今はそこを集中的に伐採したりして、捨てられない環境づくりをしています。

東山墓園の道路沿いのところも下まで見えるぐらいにまでしました。

もっと下まで見るとまだごみは出てきますが、そこまできれいにしようとするには機械が必要なんです。少しでも不法投棄されないような環境を作っています。

### ○会長

何か対策はとれないんですかね。

### ○委員

もう少し方法はあるかと思いますが。

### ○事務局

よく捨てられやすい場所については、去年、廃食油リサイクルの会から寄付金をいただき、ずっと監視するものではなく、しばらくの間スポット的に監視するカメラを購入しました。よく捨てられる場所に



については警察とも相談をしながら証拠を探さないといけません。まだ実績はあがってないよね。

### ○事務局

あがっていません。決められた場所に毎回毎回捨てる人はあまりいないため、スポット的にカメラを設置したところで、犯人を特定することは難しいのが現状です。

### ○事務局

名張市では、決まった場所にずっと捨てられることはあまりありません。

### ○委員

このごろ、大きいごみというよりは、小さいごみがよく道端で見かけるようになりましたよね。あまりそういうのはなかったのに。

### ○事務局

本当にその通りです。

### ○事務局

ちょっと団地が途切れた道の間の歩道沿いとかによく捨てられていますね。

### ○事務局

本当に、ポイ捨てというイメージのごみが増えてきましたね。業者が捨てているだろうというのはあまりないですね。

### ○事務局

まあ、産業廃棄物のようなものが捨てられていたら、警察と話をするのですが。

そのようなものではなく、小さなポイ捨てが積み重なって、大きくなっているということです。

### ○会長

わかりました。数値はこれでいいですが、まだ課題があるということですね。

54 ページについては、なぜカーボンニュートラルを実現するのかといった部分が抜けてるので、その部分を書き加えていただきたい。

これはいつまでに仕上げないといけないんですって？

### ○事務局

12月中です。

### ○会長

11月12、13日にCOP26が終わるので、それを少しみていただいて、変更を加えていただければと思

います。

それから 56 ページになりますが、「市の事務事業に係る CO<sub>2</sub>排出量」これは減らさないといけません。国は 46%減らすとっていますので、計算すると 12,000 くらいから 11,000 は足りません。もし目標を達成できないとしても国の基準に合わせましょう。

それからエコ通勤のことについても、411 から 1000 に削減量が増えることはとてもいいことですが、もう少し増やせないでしょうか。

58 ページなんですが、太陽光ですね。これは色々なことがあるから何とも言えないんですけども、6 万 kw でいいですか？確認だけです。

### ○事務局

伸び率で言うと、さらにもっと伸びるかもしれませんが、あまり主導できる立場ではないので。

### ○会長

わかりました。これはもう少し様子を見ながら考えていただけたらと思いますので、こればかりは何とも言えないので、少しでも増えたら良いかなとは思っています。

次に 63 ページなんですけれども、自分が住んでいる町がすごくいいと感じる市民の割合、これだけなのでしょうか？90 ぐらいに増えないですか？

### ○事務局

ここは総合計画の数値なので、私どもで数値を変えたりはできないんですが、4 人に 3 人はやはり少ないですかね？

### ○会長

快適環境なばりで皆さんこれだけ頑張っているのだから、80、90 台に乗ってもいいだろうと思いますけど。これ、姑息じゃないですか？79.7 じゃなく、80.0 でいいでしょう。

### ○事務局

これは毎年の総合計画のアンケートを基に作られた目標値ですので、また見直しの機会にそのようなご意見があったことを担当に伝えようと思います。

### ○会長

四捨五入しましょうよ。80.0 でいいんです。これは少し意味が分からないです。総合計画がそうなら仕方ないかもしれませんが、調整をお願いしたいです。

### ○事務局

ここは置きかえれない数値だと思います。うちの独自の数値だと変えられるんですが、総合計画とイコールの関係にしているので、また見直しの際に意見をしようと思います。

**○会長**

わかりました。で、同じような数値のページがあるんですよ。66 ページです。

「自分が住む地域における景観などの環境が良好であると感じる市民の割合」のところ。これも 79.7% なんですよ。これもとても細かいな。と思って。

**○事務局**

これも先ほどと同じ内容なので、同じ数値になっています。

**○会長**

その上の「市民による自主的な文化芸術活動～」のところも、中間値が 37.8 だったのに、なぜ 37.0 になるんですか？

**○事務局**

これも同じで、総合計画上の数値です。ただ、うちの施策に当てはめると、この項目だよ。ということ  
で置かしていただけてます。ただ、見直しがありますので、その時には意見として挙げようと思います。

**○会長**

この総合計画は、いつのものなんですか？

**○事務局**

4～5年くらい前のものかと…。

**○会長**

なにが言いたいかという、79.7 は、微分、積分にあるわけではないので、こういう場合は 80 なんですよ。

**○事務局**

おっしゃっていただけてる通りです。

**○会長**

人間って、0.002 とか、区分できないじゃないですか。「1」なんです、人間は。  
だから 0.5 だったら 1 にならないとなんですよ。

そのような議論はなかったんですか？数値があまりにも分かってないですよ。

**○事務局**

そこに関してはなんとも。

## ○会長

BOD とかの数値じゃないんですから。79.7%って何ですか。ありえないでしょう。

## ○事務局

計画値の最終年度値じゃないからじゃないですかね。

こちらの計画と総合計画の計画年度の最終が違ってて、こちらでいう令和8年度の数値を引っ張って来たときに、中間の地点の値なので、中途半端な値をとらざるを得ないと思います。

## ○会長

そうだとすれば、いずれはまた80にしましょうよ。

## ○事務局

その総合計画は10年を目標にしてて、5と10があって、間の8をとって、79.7%となっているなら、こちらで独自に80%にかえさせていただきます。また確認を取ります。

## ○会長

お願いします。

68 ページに、交通安全の啓発というところがあって、コロナの影響で75人に減ったんだろうけど、また目標1,000人となっていますし、赤字での説明はわかりやすくありがたいです。

この目標はこのままでいきたいですね。コロナ禍が終わったらもっと増えるよ。という書き出し、とてもいいと思います。

それから最後のところ、71 ページですけども、「地震等の災害への備えをしている市民の割合」ですが、これは100%いかないと駄目じゃないのですか？これも環境部門の数値ではなく、安全や防災の部門の数値になるのですか？今はもうどこもかしこも準備しているでしょう？

## ○事務局

本来100%であるべきですが、実際は43.1%しか、準備されてないということで…。

## ○会長

ですが、そのおうちにもハザードマップはあるでしょうし、水もあるはずですが。

何とも言えませんが、少ないという印象を受けました。

それからその下の部分。不安を持っている人が減ったということは、それだけ安全なまちだということだとすれば、数値的な幅から見れば、50%程度なのかなと思ってしまいますが、これについては何とも言えない部分であります。今時、防災の備えをしていない人なんていないと思うんですが、どうでしょう。2人に1人はなにもしてないんですか？そんなことはないでしょ？

## ○事務局

ハザードマップは皆さん自宅にあっていただくと思うんですが、それだけでは万全ではないと思って  
くれているのだと思います。

### ○会長

水とか非常食とか、3日分ほど持ってませんか？

### ○事務局

これも市民アンケートの中の1項目にあたるもので、だいたい2,000人ほどの方にアンケートを取ら  
せていただいている、結構回答率も良く、半分は越えているのですが、市民の皆さんが返答してくれた割  
合にもよるので、だいたい毎年このぐらいの数値でそれより少し上を目指している状態です。

朴会長おっしゃられた通りですし、実際はしているかもしれませんが、しかし、アンケートとしては、し  
っかりリュックに詰めて準備していないと準備しているとは言えないと思っている方が多いのかもしれ  
ません。

### ○委員

そうですね。そういう風にやってないのならやっていないと回答するでしょうしね。

### ○会長

少なくとも、避難場所がどこなのか？とかは分かっていないといけませんね。

私はいつでも準備できていますし、そのような立場から見ると、「2人に1人はなんもしていないわけな  
いでしょ」となるので。「しっかり備えてはいないから、やってるうちにははいらぬ。」といわれればそ  
こまでですが。我々は数値を使う立場だからしかたないですけど。

### ○事務局

名張市はそんなに大きい災害が近年起こっていないので、意識が低めなのかもしれません。しっかりと  
意識は持つといていただかないとだめですが。

### ○委員

先ほど朴会長がおっしゃられた21,22ページの子どもたちのイラストなんですが、イラストを描いた  
子たちの名前が出ているのですが、これはいいのでしょうか。

### ○事務局

これについては、まず学校の先生にイラストの協力をお願いしたし、保護者に許可を得ております。  
保護者からは、出来たら見せてほしいとお声をいただいております。

### ○委員

「挿絵に使用してもよろしいか？」のところに承認・拒否とありますが、イラストのみを使用しても  
らうという風に思われていたらと思ったもので。

**○事務局**

お名前も使用させていただくということで、許可をいただいております。

**○委員**

それも含め、了解ということですね。

**○事務局**

冊子を保護者に渡すということですし、写真のバランスを考えたいと思います。

**○会長**

展示とかしてみたらどうでしょう？

市役所入ったところに貼るとか。特別掲示板みたいな形で

**○事務局**

今年度はこれを基にしていくので、また来年度以降そのようなことがあったなら、そんな趣旨も書かせていただいて、皆さんからいただいたものを環境の活動として掲示するなど是可以すると思います。

そのようなご意見いただいた旨を、来年度以降の環境学習に反映していこうと思います。

**○会長**

それと可能であれば、亀井市長と子どもたちが触れ合う機会もあればいいと思います。

上手な絵を描いたね。などと褒めてもらえれば、やはり子どもたちは褒められて伸びると思うので。

**○事務局**

いろいろな作文やポスターなど、結構お願いさせていただいて、先生にとってもお世話をおかけしてまして。夏休み明け集計して提出していただくことについてもとてもお世話をかけておりますので。

**○委員**

係の先生だいぶ大変です。

**○会長**

そのような先生も市長にねぎらってもらったらいいのではないのでしょうか。

**○事務局**

その辺はバランスをとっていきたいと思います。

**○委員**

よろしいでしょうか。今回、コラムであったり、イラストであったり、入れていただいて、一般の方に

もすごくイメージしやすそうない形で、修正をしていただいたと思います。ありがとうございます。

朴会長もおっしゃられていた 11 ページのところの意見については賛成です。

それから 1 章の方で気づいたことがあるんですけども、10 ページの、計画位置づけのところ、言葉的にも SDGs が入っていないですし、このイメージ図のところにも入っていないので、入れておく方がバシッと伝わるかなと思います。

## ○会長

絶対 SDGs 未来都市に選定されるようにしましょう。

## ○委員

そういう意味でもこの 1 枚ものがどこにでも使えるサービスペーパーになると思うので、ご検討頂ければと思います。

## ○委員

この SDGs のマークがもっと身近になればいいのにね。

私たちは市民活動団体として環境学習というか半分遊びの延長として参加者は来てくれるのですが、保育園、幼稚園、小学生、もちろん大人も対象であって、アンケートをとってみると、チェーンソーを使って木を切ったりするとき、「名張でこんなことができるんだ」と書いてくれたり、前回も国津の方で、星空観察会をしたんです。その日だけ晴れて、その日以外はずっと雨やったんですが。その時来てくれた人が「名張でこんなにすごい星が見れるんだ」といってくれたりしました。こんな風に、小さいアピールなどもいいのではないかと思います。どうしても赤目四十八滝などに目が行ってしまいますが。地元の農業体験もできますし、名張市の中で星空案内をしてくださる方もおりますので、1 年間の名張で見える星を解説してもらったりしています。アンケートなどを見ていると、小さいアピールも大事だなと感じましたね。

広報にイベント開催の情報は載せさせてもらいます。報告は広報に載せたりはしないんですが、アンケートで集まった声などを広報に載せたりできるといいと思います。まち、自然、両方いいということをもっともっと分かってもらえるといいなと思います。外から来てもらうのも大事ですが、市内の方たちに認識してもらうのが大事だと思います。

そして、星がきれいということは、それだけ光の害がないということですね。

## ○会長

そのような声は、公民館とかで拾うんですか？どこで拾うんですか？

## ○事務局

一応、各市民センターでも星空観察会やっていますし、活動団体にもしていただいています。

## ○委員

そうですね。私たちが行った次の週に公民館がやっていたと思うんですが、多分雲が出て駄目だった

と思います。

### ○事務局

今年の地域主催のものはほぼなかったと思います。  
コロナの影響と天気が悪かったのがあります。ペルセウス座流星群などを見る目的の観察会というのは、地域主催のものは本当に少なかったと思います。ほぼ天気が悪かったからです。

### ○委員

そうですね。私たちも9月に設定していたものはコロナの影響もあり開催しませんでした。そうすると9月に申し込んでいた人が10月に流れてきまして。コロナの影響を鑑みて9月と10月で2日間用意していたんですが、40人ほど流れてきまして。天体望遠鏡も3台ありましたので。そしたら、きれいな星が沢山見えました。それはその地域が光害など何もないからです。ちょっとした里山のようなところで見ているんですがね。  
本当に小さいアピールは大事だと思います。

### ○会長

大阪ではプラネタリウムいかないと見れないですもんね。それが名張ではちょっと行くとすぐ見れると。

### ○委員

そうです。  
金星がどこにあって、夏の大三角形はあっちにみえますとか。

### ○会長

そんなのも教えてくれるんですか。

### ○委員

はい。先生がいるので。あまり私はわかりませんが。  
国津小学校でして、今は廃校になっているのですが、グラウンドが名張市の管轄ですので、グラウンドを借りて行っています。

### ○会長

それならば、名張市のお父さんお母さん世代の方たちが「子育てには名張はとってもいいよ。」と大阪などの若い人たちをどんどん呼び込んでもらえればとてもいいですね。

### ○委員

住むのは難しいかもしれませんが、近鉄電車で少し来てもらえればいいですね。



**○会長**

そうですね。交通の便もいいですね。

**○委員**

そうですね。

私たちは自分たちがして楽しいことを企画しますが、全部環境学習にはつながるので、多くの子どもさんたちにも申し込んでいただいています。

**○会長**

もし名張市が SDGs 未来都市にあるんだったら、さりげなく SDGs を感じ取ってもらう名張市 という風にしていければいいですね。嘘っぽいことを言わなくても普段から SDGs を感じ取れて生活の一部になじんでるようにしていきたいですね。

絶対に SDGs 未来都市に選ばれてほしいです。動きましょう。

で、市役所の入り口ですが、SDGs に関するものが何もなかったよ？旗でもなんでもいいので、欲しいですね。

**○委員**

これなんなんだろう。と思ってもらえるだけでもいいですよ。

**○会長**

はい。ホイールマークでもなんでもいいのでちょっと設置してほしいです。市長室に入るところなどにもほしいです。

**○委員**

言い続けるということが大事ですね。

**○事務局**

部局として、研修などはずっと続けてきているんですが。

**○会長**

でも入り口には何も見えていない。

**○委員**

あとは、おっしゃってた三角形の 1 番上に来ている「市民」の人にもっと身近に感じてもらうということが大事だと思います。「あ、名張もこんなマークがあって、こんなことをしてるんだ。」と思ってもらえるといいと思います。

**○会長**

「なんだこれ！」と入り口から思わせて実は名張市は無理しなくても生活に SDGs がなじんでるよ。というのが伝わるように、入り口出口から変えていきませんか？

それを条件で亀井市長の顔を載せたらどうですか？…決まり。

## ○会長

もう4時ですか。

色々レポートを持ってきていただいた福廣委員、何かないですか？

## ○委員

あの、僕実はしっかり自分の考えをまとめてくると言ったのですが、時間がなくて、焦って昨日と今日で作成しました。わかりづらいですが、一度家で読んでください。今度は約束して、整理をします。

僕や朴会長もそうですが、環境というと、公害から入っています。学校でいう「理科」です。

しかし、だれも取り残さないというのは「社会」です。それへのシフト、デジタル数値じゃなくなるんです。BPM 出ないから。その評価項目についてちらほら書いています。

そのようなものを見ていただきたい。そうするとデジタルではない評価についてもわかっていただけるか。例えば、仕事が終わってみる景色は美しいか？「美しい」、「美しくない」、「汚い」など、その程度ですが。この5年で環境は激変している。私は中間見直しというのは反対なんです。これは前の時からなのですが。「抜本見直し」という内容にすればいいと思う。

個人的な意見を言うと、身近な景色の評価項目。これは環境の1番の積み上げだと思う。そして、環境は「理科」ではなく「社会」ということを思っております。

もう1つは、自然災害の事です。防災のことにに関するページが1ページしかない。もう少し他の項目でも防災視点を入れていただきたい。

快適性をもっと追及したらいいと思う。自分勝手に罪深いと思うかもしれないですけど、そんなことはない。快適に生きることが目標なんで。そのような内容のことをダラダラ書いてます。また完成したら事務局に送ります。目標今月中です。

## ○会長

そしたら、非常にいろんなご意見いただきまして、私は喋りすぎてしまったかもしれませんが、また整理をしていただければと思います。

次はいつになりますか？

## ○事務局

朴会長がCOP26から帰られてから、また打合せします。コロナの状態もわからないので。

## ○委員

問題なければ年内ということですね？

## ○事務局

年内だと遅いんです。一旦まとめてもらった意見を庁内の会議で諮って、議会でも言わないといけませんので。そこでいただいた意見をまた朴会長に通すので。

## ○事務局

福廣委員、もしご意見いただけるのであれば、11月20日ごろ目処でお願いします。

## ○委員

わかりました。20日まででできるところまでします。

ここに取り込んでいる写真、日付や時間を盛り込んだほうが良いのではないのでしょうか。個人の肖像権などの関係のないところは。

## ○事務局

多分、分かるところと分からないところがあります。私が撮ったものはわかりませんが、場所はかけます。

## ○委員

場所は欲しいですね。

## ○委員

ネットからとってきたらどといわれるといやなので。

あと、総合計画の数値のところは、「総合計画からの数値」と書いたらいいと思いますね。

## ○事務局

「〇〇の割合」と書かれているところは総合計画の数値を引っ張ってきているので、そのようなところは注意書きをして、総合計画の数値を引っ張ってきていないのは端数処理できますし、それが年度ごとに数値が決まっているのならそのままで行きます。申し訳ないですが。

## ○会長

今更ですが、人間の割合が79.7ってどういうことなんですか。これは無理ですよ。教えてあげてください。

## ○事務局

数値を出す目標ならいいですけど、割合ですもんね。

## ○委員

僕1つ言えるのは、これは僕の持論なんですけど、僕は総合計画の公募委員もさせてもらってるんですけど、僕は環境プランの方が総合計画より今の時代上やと思うんです。

ですがそういう位置づけになっていない。

**○会長**

とりあえず時間になりましたので、これで終わります。ありがとうございました。